

私のチャレンジ

動画リンク : <https://youtu.be/SgV2b75HEUU>

私のチャレンジ

今回は「私のチャレンジ」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には"ふりがな"があります。
後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字に"ふりがな"はありません。
学習にお役立てください。

■私が日本にきた理由

こんにちは。私はジョンです。アメリカ出身で2年前に日本に引っ越してきました。日本文化がとても好きで、アニメや映画を見たり、日本の歴史を学んだりしていました。それで、もっと日本のことを知りたくなり、日本語を勉強し始めました。そして、日本語をもっと上手に話せるようになりたいと思い、思い切って日本に来ることにしました。

最初は新しい環境にワクワクしていました。日本はずっと憧れの場所だったからです。でも、同時にたくさんの不安もありました。言葉が通じるかどうか、日本で友達ができるのか、日本の生活にちゃんと慣れることができるのか、心配でした。特に、文化の違いに戸惑うことが多いだろうと考えていました。

日本に来たばかりの頃は、道を歩いているだけで全てが新鮮に感じました。日本の建物や風景、そして人々の優しさに感動しました。道に迷ったとき、日本人の人が親切に助けてくれたこともありました。まだ日本語があまり話せなかった私に、ゆっくり話してくれて、本当に助かりました。そのとき、日本に来てよかったと思いました。

今では、日本が第二のふるさとのように感じています。日本には素晴らしい文化や自然があり、日本の生活を楽しんでいます。まだまだ日本語を学ばなければならないことがたくさんありますが、少しずつ成長していると感じています。これからも日本語を勉強し続けて、日本での生活をもっと楽しんでいきたいです。

■日本語との出会い

日本に来て、すぐに日本語の壁にぶつかりました。最初に気づいたのは、ひらがなやカタカナの文字を読むことが、思っていた以上に難しいということでした。アメリカでは少しだけ日本語を勉強していましたが、実際に日本で使う日本語はとても速くて、ほとんど理解できませんでした。道を聞こうと思っても、相手が何を言っているのかわからず、何度も聞き返したことがあります。

日本語を話すことも大変でした。発音やイントネーションが正しいかが不安で、相手に通じないことが多くありました。特に、店で何かを注文するときや、電車に乗るときは緊張しました。例えば、最初にレストランに行ったとき、「水をください」と言うつもりが、言葉がうまく出てこなくて、店員さんに困った顔をされたことがあります。そのときはとても恥ずかしくて、もっと日本語を練習しなければと思いました。

でも、少しずつ日本語に慣れていきました。毎日、日本語で会話をする機会があるので、少しずつ単語やフレーズを覚えるようになりました。例えば、買い物をするとき、値段を聞く「いくらですか？」という言葉がすぐに覚えました。駅でも、電車の時間を聞く「次の電車は何時ですか？」というフレーズを覚えて使うことができました。

今では、簡単な会話はできるようになり、少し自信がついてきました。まだまだ難しいですが、日本語が少しずつ理解できるようになるのは、とても嬉しいです。

■便利なフレーズ

日本で生活を始めてすぐ、日常生活で使う日本語のフレーズを覚えることが大事だと気づきました。特にスーパーやレストラン、駅など、毎日の生活で使う場所では、いくつかの便利なフレーズを覚えておくと、とても助かりました。

最初に覚えたフレーズの一つは「いくらですか？」です。スーパーで買い物をするとき、値段を聞く場面はよくあります。このフレーズを覚えたおかげで、買い物が少し楽になりました。また、レストランでは「これをください」というフレーズがとても便利でした。日本のレストランではメニューに写真がないこともあります。メニューを指して「これをください」と言えば、注文がスムーズにできました。

もう一つよく使ったフレーズは「次の電車は何時ですか？」です。日本の電車はとても便利ですが、時間を確認しないと次の電車に乗り遅れることがあります。このフレーズを使って駅員さんに聞くと、すぐに教えてもらえました。少しずつ、このような簡単なフレーズを覚えることで、日本での生活に自信がついてきました。

また、他にも「ありがとうございます」や「すみません」など、感謝や謝罪の言葉もよく使います。日本では、感謝や謝罪の気持ちをしっかり伝えることが大切だと感じています。たとえ短い会話でも、こうした言葉を使うと、相手とのコミュニケーションがよりスムーズになりました。

■日本の食文化

日本に来て、最初に驚いたことの一つは、食文化の違いです。特に、納豆や刺身など、アメリカではあまり見かけない食べ物に出会いました。最初に納豆を食べたときは、その独特の匂いにびっくりしました。粘り気が強くて、どうやって食べたらいいのかもわからず、少し戸惑いました。でも、日本の友達が「納豆は体にいいから、ぜひ挑戦してみてください」と言ってくれたので、少しずつ食べてみることにしました。

初めはなかなか慣れませんでした。何度か挑戦しているうちに、だんだんとその味に慣れてきました。今では、朝ごはんにも納豆を食べることもあります。自分でも驚きですが、こうした挑戦が新しい経験を広げてくれると感じています。

刺身も最初は怖かったです。生魚を食べるという習慣がアメリカにはあまりなかったので、どうしても食べるのに抵抗がありました。でも、日本の友達と一緒に寿司を食べに行ったとき、勇気を出して挑戦してみました。食べてみると、その新鮮な味わいに感動しました。今では刺身が大好きです。

他にも、たくさんの日本の食べ物に挑戦しました。例えば、お好み焼きやたこ焼きなど、初めて食べたときはとてもおいしくて驚きました。日本の食文化は本当に多様で、まだまだ挑戦してみたい料理がたくさんあります。

日本の食べ物に挑戦することは、新しい文化を理解する方法だと思います。

■友達との交流

日本に来て、最初に感じた大きな壁は、友達を作ることでした。言葉がうまく話せなかったのも、どうやってコミュニケーションを取ればいいのか、最初はとても不安でした。特に、日本人の友達を作るのは難しいと思っていました。文化も違うし、どんな話題が良いのかもわからず、会話を続けるのが大変だと感じました。

でも、地域のイベントに参加したり、日本語の勉強グループに行ったりして、少しずつ友達ができました。最初は、あまり話すことができなくても、笑顔やジェスチャーでコミュニケーションを取ることができました。言葉が通じなくても、相手が優しく話しかけてくれると、少し安心しました。

一番印象に残っているのは、近所の人たちがとても親切だったことです。ある日、道に迷ってしまい、どうしようかと悩んでいると、近くにいたおばあさんが声をかけてくれました。簡単な日本語で「どこに行きたいですか？」と聞いてくれたのですが、その優しさにとっても感動しました。おばあさんが道を教えてくれて、最後に「またね」と笑顔で言ってくれたとき、日本で暮らしていく自信が少しついた気がしました。

また、日本語の勉強会に参加することで、他の外国人とも交流ができました。みんな同じように日本語を学んでいるので、共通の話題があり、すぐに仲良くなることができました。友達を作るのは少し怖いことかもしれませんが、勇気を出して一步を踏み出すと、楽しい経験が待っていると感じました。

■日本の四季

日本に来てから、四季の美しさに感動しました。アメリカでは地域によっては四季があまり感じられないところもありますが、日本では春、夏、秋、冬のそれぞれがとてもはっきりとしています。特に春の桜は、本当に素晴らしかったです。桜の花が咲く時期になると、街中がピンク色に染まり、どこを歩いても花びらが舞っていて、まるで映画の中にいるような気分になりました。

夏は少し暑いですが、花火大会がとても楽しいです。日本の夏の夜空に大きな花火が打ち上げられる光景は、アメリカではなかなか見られないものです。友達と一緒に浴衣を着て花火を見に行ったときは、とても特別な時間を過ごしました。

秋になると、紅葉が美しく色づきます。特に京都や日光などの有名な場所で見た紅葉は、写真では伝えきれない美しさでした。紅葉の中を歩くと、秋の冷たい風を感じながら自然の美しさに心が癒されました。

冬は雪が降る地域では、雪景色がとてもきれいです。東京ではあまり雪が降りませんが、少し北に行くと美しい雪景色を見ることができます。友達と一緒にスキーに行ったとき、真っ白な雪の中で滑るのはとても楽しかったです。

日本の四季は、それぞれが違った美しさを持っていて、どの季節も楽しむことができます。これからも日本の四季をもっと楽しみたいと思っています。

■失敗と学び

日本で生活していると、たくさん失敗も経験しました。例えば、道を間違えて迷子になったり、注文したものと違う料理が出てきたりと、思わぬハプニングがありました。最初は、そのような失敗にとっても恥ずかしい思いをしました。特に、言葉が通じないときは焦ってしまい、うまく対応できないことがありました。

一番大きな失敗は、電車に乗り間違えたことです。違う方向に向かう電車に乗ってしまい、気づいたときには全く知らない駅に着いていました。そのときはすごく困ってしまい、どうやって戻ればいいのか、頭が真っ白になりました。でも、近くの駅員さんに助けを求めて、「この電車に乗るといいよ」と優しく教えてもらいました。その後、無事に目的地に戻ることができましたが、この経験で「失敗しても誰かに助けてもらえる」という安心感をえました。

また、レストランで食事を頼むときにも失敗したことがあります。日本語のメニューを読んで、食べたい料理を注文したつもりが、全く違う料理が出てきたのです。最初は驚きましたが、せっかくなのでその料理を食べてみると、意外に美味しかったので、結果的に良い経験になりました。

このような失敗を通じて学んだことは、失敗は成長の一部だということです。最初は恥ずかしかったり、戸惑ったりしますが、その後は同じ失敗をしないように注意するようになりました。また、失敗を恐れずに挑戦することが大切だと感じました。

■今後の挑戦

これからの目標は、もっと日本語を上手に話せるようになることです。今までたくさん勉強してきましたが、まだまだ話すことに不安があります。特に、長い会話や複雑な話題になると、言いたいことがうまく言えなくて困ることがあります。そこで、次の挑戦として、日本語能力試験のN2に挑戦しようと考えています。N2は今まで以上に難しいですが、これを乗り越えれば自信がつくと思います。

また、もっと日本の文化についても深く学びたいです。日本にはまだ知らないことがたくさんあります。例えば、茶道や書道など、伝統的な文化にもっと触れてみたいです。日本に住んでいるからこそ、こうした文化を実際に体験するチャンスがあるので、それを逃さないようにしたいです。

さらに、もっと多くの日本人の友達を作って、彼らと深い会話ができるようになりたいです。今まで日本人の友達と交流してきましたが、言葉がうまく通じないときがありました。もっと日本語を練習して、友達ともっと自由に話せるようになるのが私の目標です。言語の壁を越えて、本当の意味で友達と心から話せるようになれば、とても嬉しいです。

最後に、日本での生活をもっと楽しむために、新しいことに挑戦していきたいと思います。例えば、日本全国を旅行して、いろいろな地域の文化や風景を見てみたいです。これからもたくさんの経験を積んで、日本での生活をより充実させていきたいです。

「私のチャレンジ」はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

